

「何ジロジロ見てんの？」

「オッサン私服警官？」

「PP活う…？」

「あゝ、そっちなね…」

「アタシ結構高いよ？」

「とりま前金で
3万で〜」

「んで本番なしの
ズリ抜きで7万
つてとこかな〜」

「でもオッサンみたいいな
冴えないリーマンに
払えんの？笑」

むっ♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

お金大好きPP活黒ギャル

くろがね
「黒銀 レイラ」

『ooooo』

「あwごつめらん
悪気があった訳じゃ
ないんだw」

「そんな顔
しないでよw」

『ooooo』

「三倍出すから
ゴムあり本番でどうだ？」

「オッサン富豪かよ！」
「シケたスーツ来てるから
貧乏サラリーマンかと思
ったわ!!」

「三倍出せん?!」

「ほら早く行こっ!」

「途中でゴム買って〜♥」

「あ、ホテルは駅前の
グランドホテルね〜♥」

「あ、アタシさ〜♥
最近金欠で欲しいバッグ
買えてないんだよね〜♥」

「エ○メスのバッグ
なんだけどお〜♥」

「もし買ってくれたら
アタシいっっぱいサービス
しちゃうなあ〜♥」

「レイちゃん…
わかったから…」

「アタシがもう限界なの…」

!

ミチ…

ミチ…

ミチ…

「おっけい♡じゃあ
ホテルいこっか♡」

「その様子じゃあお店の中に入れないからね♡」

NO♡

ふっ…もう勃ってんのかよ…w

むち♡

「現役OKのムチムチボディで
気持ち良くしてあげるから
早々にへタレないでよ♡♡♡」



ムチ♡

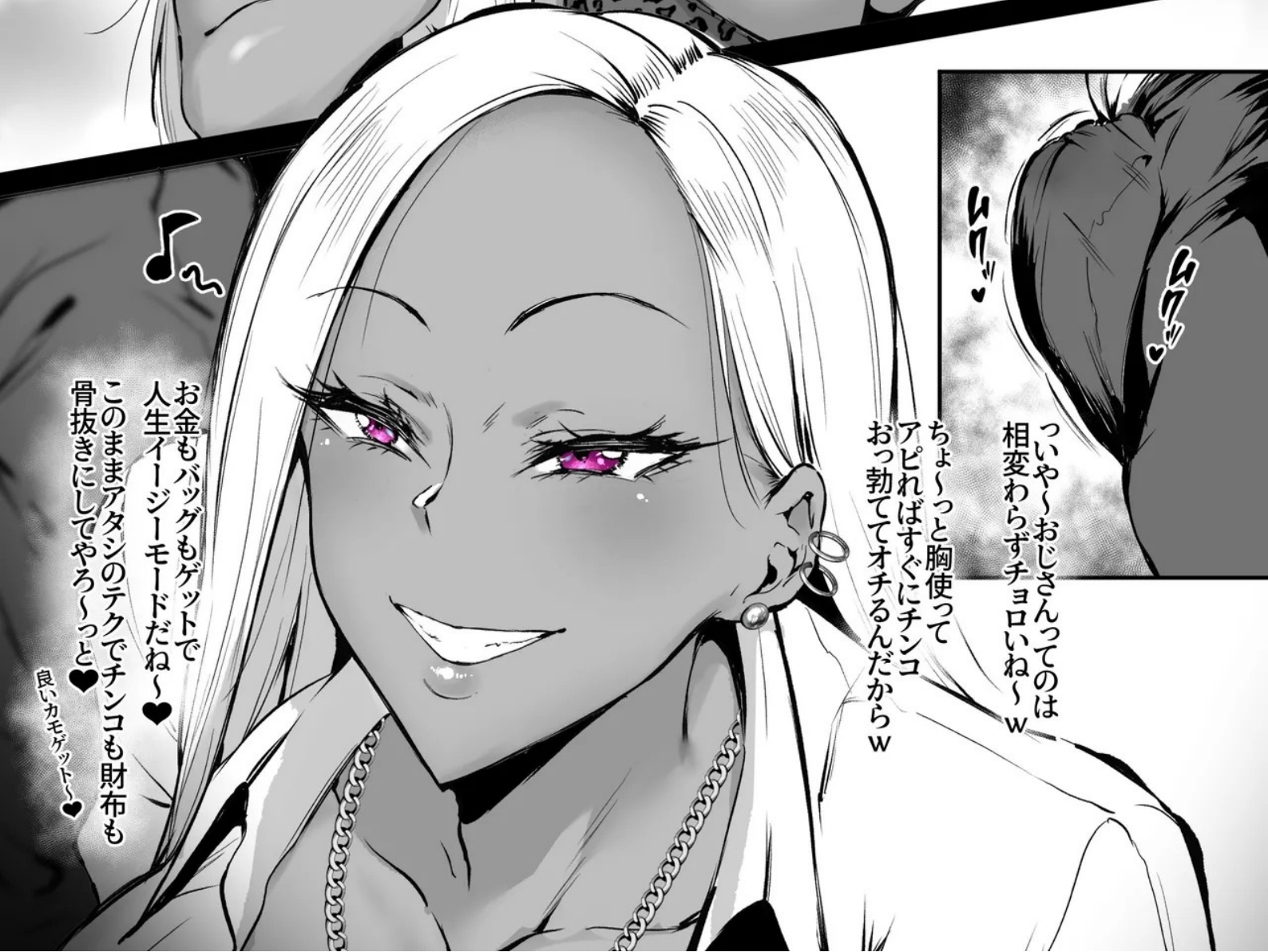
ついやらおじさんってのは
相変わらずチョロいね♡w

ちよっつと胸使って
アピればすぐにチンコ
おっ勃ってオチるんだからw

♪

お金もバッグもゲットで
人生イージーモードだね♡
このままアタシのテクでチンコも財布も
骨抜きにしてやろっつ♡

良いカモゲット♡





「ッおっさんマジ
やばいッッ♥♥」おッ♥飛ばし過ぎ♥♥

「あたしもうイってる
ッてばあああッ♥♥」

「うるせえッ、金ッで簡単に
股開くバカマンユがッ」

「喋ってないでマンユ締めろッ
オラ射精すぞッ!」



「フー……ッ♥
何発射精しても一発目
くらいの量出るわ♥
マジで神マンコ♥♥♥」

「ん？金玉枕にして
寝てんのか？w」

「ちんぽ様をほったらかす
無礼な雌にはしっかり
ワカラせないと♥」

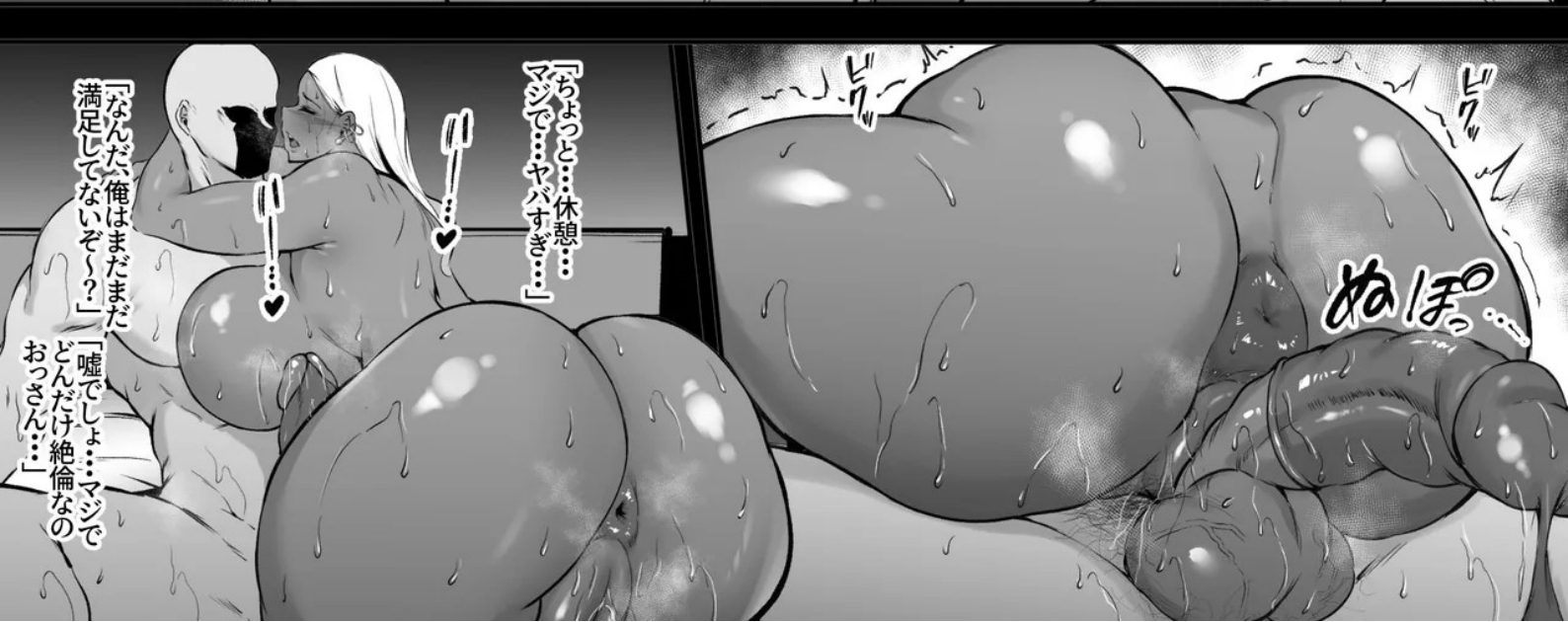
「なあレイラ♥♥」

「オラア起きろ!!
こっちは二倍払ってんだ!!」



「うっ、射精るっ
射精すぞお!」

「よおしいぞお
上手に精子昇らせた
ご褒美にまた射精
してやるからなあ♥」



「なんだ、俺はまだまだ満足してないぞ?」

「嘘でしょ...マジでどんだけ絶倫なおっさん...」

「ちよろこ...休憩...マジで...ヤバすぎ...」

ぬほ...

きゃっ!?

「こんな体勢で…!?
ちよっ…!! 離してよ!!」

「動くなって
このヘタレマンコを
ほぐしてやる♥」

「やっ…!!
舐めんなっ…!!」

「ぐちゃっ♥」

「ぐちゃっ♥」

「ぢゅるるるっ♥」

「んんん♥」

「もうパンコりまくったからな
お前の弱点はもうわかって
んだよ抵抗すんな♥」

「おめ…
気持ち…悪…」

「ぬりっ♥」

「ぬりっ♥」

「ぬりっ♥」

「ぢゅるるっ♥」

「ぢゅるるっ♥」

「んんん♥」





「よし大分ほぐれたな
ホカホカまんこに♡」

「ははっPP活してるくせに
綺麗なピンク色だな♡
黒ギヤルらしくこちも
ドス黒くしてやる」



レイラはその後もひたすら
ハメられ続けた――

実に五時間……

ゴムありゴムなし交尾
合わせて20回以上……

徹底的にちんぼの味を
叩きこまれた

金にモノを言わせて
止まらぬピストンに為す術なく
強い雄の性欲が
満たされるまで――



「ほらレイラ
写真撮るぞ♥」

「はい、チーズ」

「何発射精したかな。。。
流石に少し疲れたが」

「っいや、久しぶりに
カッスルしたわ♥」

「自分からちんぽねだるような
タダマン雌便所にしてやつからな♥」

「楽しみにしてけよ、レイラ♥」















